

アヒア



岩手県民の手と手をつなぎ、環境の輪を広げるために



お花の花びらを…
ふーっと飛ばしてみました★



「ゆりかご広場」も好評開催中です!



GW特別企画★
「手づくりうちわをつくろう!」



今年の夏は節電の夏になりますね。環境学習交流センターでは、うちわプロジェクトやグリーンカーテンプロジェクトを計画中です。

グリーンカーテンは、センター内でスクスク育っています。成長日記はブログでも更新していますが、ぜひセンターで実物を見ていただきたいです。



Index

○センター情報

- ・展示
- ・エコカーゴが行く! ~第8回~
- ・土日環境学習講座

○団体紹介

- ・御所湖の清流を守る会 (盛岡市)

・NPO法人 遠野山・里・暮らし
ネットワーク (遠野市)

○図書の出借をご利用ください

○県内イベント情報

○特集コラム

竹花悠さんのオーストラリア通信 vol.1



◎展示

東日本大震災について 地震と津波・災害時に役立つ省エネ情報

3月11日に発生した東日本大震災。本県をはじめ、県外でも広い地域で甚大な被害を受けています。

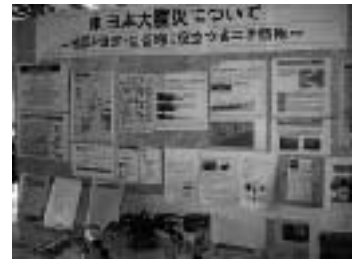
津波と地震のメカニズムを理解し、3.11を風化させないこと、また、改めてエネルギーの消費について考えよう、という思いです。

災害にも役立つ省エネグッズや、家庭で

できる節電チェックなど関連資料も展示しています。

また、「『復興の狼煙』ポスタープロジェクト」のポスターを展示しました。瓦礫の中や、避難所にいる市民の写真に、力強い言葉をつけたポスターです。

復興に向けて、自分ができることをやろうと、活力が湧いてきました。



第10回りんごの花まつり

日時：5月15日(日) 場所：うわのりんご園

お天気にも恵まれ、りんごの花も咲くなか、たくさんの方がご来場くださいました。

今回は、木琴やペーパーウエイトなど、木のぬくもりを体験するコーナーを設けました。叩いて音の違いを感じてみたり、匂いをかいでみたり（ペーパーウエイトはヒバとヒノキでできているので、とてもいい香りがするんです）、木材の良さを体験していただくことができました。

また、「さわってみよう」（目隠しした箱に手を入れて、中に何が入っているかを当てるクイズ）も持参しました！恐る恐る手を入れ、いいリアクションをしてくださる来場者のみなさん。正解は…大きな松ぼっくりでした☆これも木のぬくもりのひとつですよ。

自然の恵みを存分に味わうことができた一日でした。お越しくくださった皆様、ありがとうございました。

エコカーゴが行く！

第8回

その他こんなところにも
行きました！

■第4回盛岡星まつり

いわて星空フェスタ2011

出動日：4月23日(土)
24日(日)

場所：イオン盛岡南SC

■着町子供フェスティバル

出動日：5月5日(木・祝)

場所：着町アーケード

■一戸町 高森高原まつり

出動日：6月5日(日)

場所：高森高原

■花と緑のまつり 2012

出動日：6月10日(金)

～

12日(日)

場所：花巻市総合体育館

■奥州市水沢区の小学校における

環境学習会

出動日：6月29日(水)

Information

環境学習交流センターのblog、twitterも要チェック！最新情報はもちろん、センターの様子も更新しています。

<http://www.aiina.jp/environment/>

環境学習交流センターでは、土日の午後に、「土日環境学習講座」を開催しております。講義形式のちょっとまじめなものから、もの作りを通して環境にふれる体験学習形式まで、様々なスタイルの講座を展開しています。テーマも月ごとが変わるので、年間を通してお楽しみいただけます。ぜひお気軽にご参加ください！

●5月のテーマ：がんばろう、日本！さくらエイド！●

【時間】13:30～15:00 【会場】環境学習交流センター（アイーナ5階）

5月8日（日）

被災地（東日本大震災）から得る理想のライフスタイルって？

講師：佐藤澄子（子どものこと。研究所 座・いどばた）

いどばたのように、まあるくなって座って、山田町の3月20日ころの写真をみせていただきながら、会議のはじまり、はじまり。



まだ、取り壊さなくてもいいような家でも、泣く泣く取り壊しを決めなければならないなんて…悲しいですね。支援物資は、最初のころは食料中心でしたが、日々変わって行く状況、要望に応じて、ほぼ毎週届けているとは…素晴らしい！！避難所の責任者と被災者の要望の違いなどは、山田弁で話すことによって、誤解がとけたとか！山田町出身が強みですね。

しかし、ボランティアの方に手伝ってもらっても、気を使ってヘトヘトになったという被災者サイトの声や、ありがとうと言ってくれないと不満をもらすボランティアなど…ボランティア活動の難しさを知りました。たくさんのお話を聞いて、みんなで話して、気づくと1時間も超過して、いどばた会議終了しました。（田近）

5月29日（日）

風さんの森の楽しみ方講座 春編

講師：市原裕子（風さん、森林インストラクター、農学博士、森林・林業会議理事）

「ゆりかご広場」でおなじみの風さんこと市原裕子さんのお話です。クイズ形式でお話が始まりました。
①木と②樹のちがいは？ ②樹は、生きている樹木のみを指し、①木は、生きている木と材木なども指すのです。



木の枝にブランコを取り付けた時、木の生長によって

ブランコの位置は、どうなるか？ 木の生長点は、先端部分にあるので、上へ、上へと成長するので、ブランコの位置はそのままなんです。

続いて漢字の読み方クイズ。松、楓、樺、栗、猿捕茨、朴、花筏、苦木、黒文字、辛夷、山椒など、う～む、読めないぞ。

そして実物の葉っぱクイズ。この葉っぱはなんの木の葉？ 前の漢字の木の葉はどれ？ 大きな葉っぱ、小さな葉っぱ、好い匂いの葉っぱ、苦い味の葉っぱ…そうか、そうか、わかったぞ。

その他葉っぱじゃんけん遊びなど、楽しいことをいっぱい教わりました。（田近）

5月29日（日）、30日（月）

キューブびんキャンドル作り

講師：センタースタッフ

時間：10:00～15:00

6月にキャンドルナイトを控え、センターでもキャンドル作りを行いました。これは、リサイクルセンターから拾ってきたビンと、廃キャンドルを使った、100%のリサイクルキャンドルなんです。

色とりどりのキューブは、廃キャンドルを溶かしてクレヨンで色付けし、固めたもので、センタースタッフが事前に準備したものです。作り手のセンスによって見事にきれいなキャンドルに生まれ変わっていました。

リサイクルとともに、電気などのエネルギーについても触れながら、参加者のみなさんと楽しい時間を過ごすことができました。ぜひお家でキャンドルを灯してほしいと思います。



●6月のテーマ：上を向いて歩こう●

6月11日（土）
「私と原発との関わりについて」

■講師：武内和雄（3月まで南相馬市在住、現在盛岡市に避難）

6月12日（日）
「ダンボールで堆肥づくり（ダンボールコンポストで生ごみ減量作戦）」

■講師：消費者友の会盛岡市環境部資源循環推進課職員

6月19日（日）
「自然の空気だけで簡単に舞い上がる『おりがみ凧』にチャレンジ！！」

■講師：シニアものづくり隊・佐々木陽

●7月のテーマ：七夕に何を願う？●

7月2日（土）
「放射能医学講座」

■講師：中屋重直（岩手医科大学医学部客員教授）

7月10日（日）
「先人に学ぶ省エネ生活」

■講師：梅野克雄（岩手県地球温暖化防止活動推進員）

7月16日（土）
「エコラフトのかご作り講座」

■講師：五日市清美

7月30日（土）
「山の幸染め」（花や葉を自然の形そのままに染める）

■講師：坂本スミ ■要参加申し込み：定員30名（定員になり次第締め切り） ■材料費：300円

団体紹介

御所湖の清流を守る会 (盛岡市)

御所ダムが完成したのは、今からちょうど30年前の昭和56年でした。ダム竣工1年前の昭和55年10月30日、「御所湖の清流を守る会」が設立されました。御所湖は、県都盛岡市に近く、高速交通体系アクセスに恵まれ、周辺を小岩井牧場・盛岡手づくり村・つなぎ温泉等の観光地に囲まれ、県立広域公園のフィールドに位置しております。従いまして、完成当初から多くの来訪者で賑わい、ロケーションと清流の美しさは人々の注目の的でした。

当会はこの30年間、いつ迄も美しい御所湖であり続けてほしい願いの下、会の大きな目標である清掃奉仕活動を中心に、以下の活動を展開して参りました。

- ①公民協働組織の充実と会員の拡充
- ②春・秋季統一清掃
- ③環境美化ポスターコンクール
- ④御所ダム交流
- ⑤周辺、上・下流域団体との連携

今後は、地域の子供達が「夢と希望を誇り合えるような美しい御所湖」であり続けるよう活動して参りたいと思います。そして、この活動の次の主役は、そのような子供達であってほしいと期待しています。



NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク (遠野市)



NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークは、「地域資源を活かしての都市住民との交流・移住定住の促進」、「遠野市民がそれぞれ培ってきた技・伝統・文化の応用」、「農村での循環的な生活スタイルの再興と実践等」を柱に、具体的な事業を行うことで社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし、活動しています。

近年では、遠野ドライビングスクール・民泊受け入れ農家・遠野の各伝統施設などの組織と連携しての都市農村交流事業があります。

これは、県内外から来られる免許取得希望者が、乗馬体験や農泊体験など、遠野の様々な伝統文化・技術を体験できるというものです。

体験者からは「また遠野に来たい」、「遠野に住みたくなかった」といった言葉を頂ける他、実際に宿泊した農家の方と文通を始めるなど、都市住民と農村の確かな繋がりを確認することが出来ます。

本年度は東日本大震災の影響より災害復興支援等の事業と並行しながら上記事業や移住定住事業、人材育成事業等により、更なる「まちづくり」の進展を目指します。

図書の貸出をご利用ください



環境学習交流センターでは、環境に関する図書の貸出をしています。

様々な分野から環境問題に触れることができるように、地球温暖化、水、エネルギー、まちづくり…などなど、30の分類で展開しています。

蔵書総数は、なんと1200冊以上！子ども向けの絵本や図鑑も取り揃えていますので、夏休みの自由研究にもってこいです。

県立図書館にない本を中心に置いているので、県立図書館と合わせてご利用になるのもオススメです。ぜひご利用ください！

貸出の手順

①アイーナカードをつくろう！

貸出には、アイーナカードが必要です。3階総合案内で即日発行できますので、ご安心を。県立図書館のカードとは別物になりますので、ご注意ください。

②アイーナカードと借りたい本を持って、カウンターへもってこよう！

貸出は、環境学習交流センターのカウンターで行います。1度に5冊まで、2週間借りられます。

③返却も、カウンターで！

返却作業も、カウンターで行います。やむを得ず延滞になる場合は、事前にご連絡ください。

さらに、今年から雑誌の定期購読を始めました。

「環境ビジネス」(2011年6月号～月刊)、「エココロ」(2011年7月号～隔月刊)、「環境会議」(2011年春号～季刊)、「サステコ」(2011年夏号年3回)、「エコ맘」(2006年5月号～季刊)といった、専門誌から大学生がつくるフリーペーパーまで、多彩なラインナップでお届けします。

また、ロハスな快適生活マガジン「ソトコト」、ビジネス情報誌「オルタナ」も、購読予定です。ぜひ、センター内の図書専用閲覧席でゆっくりお楽しみください。

県内のイベント情報

開催中 「つぶはりさんのアクリルたわし講座」 「いつかいちさんの麻ひもバッグ講座」

○日時：「つぶはりさんのアクリルたわし講座」

毎週月曜 16:00～

「いつかいちさんの麻ひもバッグ講座」

毎週木曜 10:30～

○会場：岩手県民情報交流センター<アイーナ5階>

昨年から始まったこの講座、おかげさまでどちらも大人気です。講師の先生含め、参加者のみなさんと和気あいあいと進めております。

大抵の汚れは洗剤なしで落とせるアクリルたわし、自然素材を使った麻ひもバッグと、環境について身近なところから考えるきっかけとして始めました。

費用はどちらも材料費だけなので、たわしは100円～150円、麻ひもは300円から作ることができます。デザインも様々で、慣れてくると自分でさらに工夫を凝らして、楽しんでいらっしゃるようです。

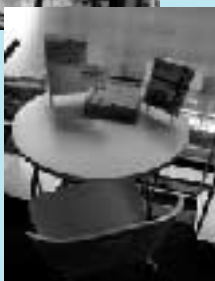
私もたわし作りに挑戦中なのですが、不器用なので目の数が合わず、編んではほどき、編んではほどき…。4個目にしてやっと勝手がわかってきました(^_^;)今度は毛糸の配色をもっとかわいくしていきたいな、と思っています。

この講座は、申込み不要、入退出自由、さらに材料や道具もセンターで準備していますので、初心者の方でもお気軽にお越しいただきたいな、と思います。

詳しくは、環境学習交流センターにお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。(よっさん)

図書の検索、詳細、スタッフおススメの図書紹介などはHPをご覧ください。

<http://www.iwate-eco.jp/study/books.html>



【環境学習交流センター】

TEL：019-606-1752

メール：eco@aiina.jp

HP：http://www.aiina.jp/environment/



県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの団体へお問合せください。

スーパー竹とんぼ教室 ～親子で一緒に作ろう～

【日時】7月30日(土)
午後1時～午後3時30分

【参加料】500円

【集合場所】県民の森 学習館

【定員】30名(先着)

※7月29日(金)までに申し込み

【持物】空き缶(高さ10cm程度)

親子キャンプ ～親子で県民の森を満喫しよう～

【日時】7月30日(土)～31日(日)
午前12時50分～翌日午後1時

【参加料】1000円(1人)

※大人、子ども同一料金

【集合場所】県民の森 学習館

【定員】親子5組(20名)

(小学生4年生以上)

※28日(木)までに申し込み

【備考】・夕食と朝食はご家族でご準備ください。

・ご予約時に詳しいプログラムと持ち物

リストを郵送致します。

・テント、寝袋等はご準備します。

【お問合せ】岩手県 県民の森 森林ふれあい学習館

TEL：0195-78-2092

FAX：0195-71-1778

網張の森のコウモリ調査体験・観察会

(コウモリの保護を考える会と共催)

【日時】8月6日(土)～7日(日)

午後4時～翌朝6時頃

【参加料】大人800円 小学生600円

(貸テント利用者は500円増)

【集合場所】網張ビジターセンター

【定員】30名

野外火山教室 (秋田駒ヶ岳)

【日時】8月28日(日)

午前8時～午後3時

【参加料】1500円

【集合場所】国見温泉駐車場

【定員】30名

「岩手山まるごと体験ネットワーク」 網張星空観察会

【日時】9月3日(土)

【予備日】9月4日(日)

午後7時～午後9時

【参加料】大人600円 小学生400円

【集合場所】網張ビジターセンター

【定員】30名

網張の森・親子で自然発見、自然体験

【日時】9月10日(土)

午前10時～午後12時

【参加料】大人500円 小学生300円

【集合場所】網張ビジターセンター

【定員】20名

野外講座「宮沢賢治足跡体験ツアー」 (バスツアー)

【日時】9月18日(日)

午前10時10分～午後3時20分

【参加料】2000円(バス代、保険料含)

【集合場所】!電車利用の方：JR雫石駅

!自家用車の方：雫石町アルペン

公園(雫石町中央公民館の道路反対側)

【定員】30名

三ツ石山紅葉自然観察会 (休暇村と共催)

【日時】9月24日(土)

午前8時～午後3時30分

【参加料】2500円(リフト代、温泉入浴料含)

【集合場所】網張温泉登山リフト前

【定員】30名

【お問合せ】網張ビジターセンター

TEL：019-693-3777

FAX：019-693-3778

E-mail：amihari@vanilla.ocn.ne.jp

竹花 悠さんの

オーストラリア
通信

Vol.1



オーストラリアのマスコットの動物とは？幾つか思い浮かぶと思いますが、その中でも1日20時間も眠っている動物。そうです、コアラです。それでは、逆に、その20時間以外は何をしているかということ？…答えは、ひたすら食べています。

そのコアラが食べる「ユーカリ」の葉。ユーカリの樹は変種も含め、約1000種類ありますが、コアラが食べるのはその中でもたったの35種類の新芽の葉です。

ユーカリの国として名高いオーストラリアでは、森林の樹木の3/4以上がユーカリと言われています。ブルーマウンテン、ブラウンマウンテン、ブラックマウンテンなど色を表した山がありますが、これは山を覆い尽くしているユーカリが放出する精油成分が太陽光線に当たり、それらの色に染められているように見えるからです。

ユーカリはアルカリ性の土壌でも育つので、オーストラリアの乾燥した地帯でも、どこでも生育するという適応性のある樹です。それゆえ、アフリカなどの乾燥地帯の干ばつの緑地化のために植林されたり、防虫作用もあるので、蚊が発生するのを防ぐため植えられたりもします。

ユーカリは、また、殺菌作用や抗ウイルス採用もあり、先住民のアボリジニたちは傷口に葉を巻いたりしていました。ユーカリの精油を水で2%に薄め、空気中にスプレー

をすると殺菌作用があり、風邪の防止にもなるといわれています。

最近では、アロマテラピーとしても有名ですね。心を平静に保つことができ、頭の働きをよくする効果があるので、記憶力・集中力のUpにもなります。

しかし近年、パルプ用のチップ生産に多用され、破壊が進んでいます。そうすると、カンガルーやポッサムなどの有袋類の生息環境が危機にさらされます。ある種の生き物の住む環境を奪うことは、食物連鎖をまわっていつかは私たち人間に返ってくるということを考えていかなければならないですね。



ブルーマウンテン

竹花 悠さんのプロフィール

盛岡市出身。千葉大学教育学部小学校教員養成課程卒業。海外旅行が好きで、学生時代に7ヶ国旅行する。昨年度は念願のオーストラリア一周をしながら、転々と農家のお世話になり、ガーリックやハーブ栽培、レンガの家づくり、乳牛の世話などを経験。帰国後、もう一つの夢だった教師として、中学校で数学を教えている。

講師派遣の申込み受付中です

岩手県では環境問題に関する研修会等を開催する場合に環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣しています。例えば、公民館の講座や小中学校の総合学習の授業、企業の

研修会など様々な場面でご利用いただいております。

申込方法など詳しい情報は、環境学習交流センター（岩手県地球温暖化防止活動推進センター）までお問合せ下さい。また、センターのホームページでも紹介しております。

センター通信 スタッフのつぶやき

いつも真っ黒に日焼けしてしまう夏…。今年は絶対焼かない！と、紫外線防止効果の高い日焼け止めを準備しました。しかし、つつい塗り忘れてしまうので、結局今年も真っ黒になりそうな予感です。(H)

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail : eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。